

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA **ビバ * シティ** city

公益社団法人 石川県柔道整復師会

2014
December

Vol. 09

特集

サポート接骨石川 (SSI) 活動報告

ハツラツと健やかに人生を楽しむお手伝い

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し、技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以って接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず、患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

2014
December
vol.09

C O N T E N T S

1 **特集 サポート接骨石川 (SSI) 活動報告**

- ①KOMATSU全日本鉄人レース
 - ②野々市じょんからの里マラソン大会
 - ③白山市出城地区総合防災訓練
 - ④金沢城下町市民マラソン(金沢マラソンプレ大会)
-

6 **2014年 日本柔道整復医学会主催研修会**

7 **第38回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会**

8 **新入会員紹介**

9 **Member's Voice**

チャレンジマイハートの軌跡 川本 力雄

10 **トピックス**

Support Sekkotsu
Ishikawa
SSI
サポート接骨
石川

● 特集 ●

サポート接骨石川(SS I)活動報告

ハツラツと健やかに 人生を楽しむお手伝い

サポート接骨石川(SS I)は、公益社団法人石川県柔道整復師会会員によるボランティア組織です。ここでは県内各地で開催されたスポーツイベントでのケアサポートを中心に、さまざまな活動の一部をご紹介します。

サポート接骨石川(SS I)活動①

KOMATSU全日本鉄人レース



鉄人の部の選手たちが、バイクで飛び出していく。

各レースごとに次々と選手がスタート!



平成26年9月28日(日)快晴の中、第33回KOMATSU全日本鉄人レースが開催されました。レースはこまつドームをスタート・ゴールに粟津温泉・木場潟周辺で行われ、中でも鉄人の部は動山、赤瀬ダム、尾小屋をめぐる過酷なコースです。今年もこの大会のケアサポート活動を、(公社)石川県柔道整復師会会員で構成する日赤奉仕団サポート接骨石川(SS I)、金沢大学トレーナー一部(KATT)、北信越柔整専門学校の碓井貞成校長はじめ講師、学生など総勢80名で行いました。

■今大会の活動を振り返って

大会前日の27日、午後3時からトレーナーブースを設営しました。開会式が行われる中、こまつドーム中央のかなり広いスペースにKATTの20名、北信越柔整専門学校の33名にもご協力をいただいて衛生材料やベッド等の搬入と配置を完了、夜はサポート活動とともにする53名が参加して「がんばろう会」を開催し、交流を深めました。

レース当日の28日は、早朝5時から競技終了の午後2時までの間に、延べ302名の選手(参加選手600名)に対してケアサポートを行いました。受付にはスタート前から選手がぞくぞくと集まり、レース前のテーピングやコンデ



早朝5時からサポートの受付を開始。



レース前の選手にテーピングを施す。



バイクで疾走!

ゴール!

無事帰還!
お疲れさまでした

レースを終えて疲労困憊の選手たちにストレッチを施す。

〈施術データ〉

参加者	完走者	ブース利用者(302名)		完走者の利用率
		レース前	レース後	
600名	522名	91名	211名	58%

イションの悪い部位のメンテナンスを希望する選手が91名、一方レース後は、疲労困憊の選手211名がブースを訪れました。

この大会での活動は今年で19年目となります。選手たちや大会オフィシャルから実績を評価され、絶大なる信頼をいただいていると自負しています。今回参加された選手の中に、一昨年の大会で肩関節を脱臼し、トレーナーブースで



一緒に活動した KATT、北信越柔整専門学校の方々と。

ドクターの診断のもと整復固定し帰宅された方がいます。2年ぶりに参加されたその選手がケアに訪れ「あの時トレーナーブースがあったおかげで、また競技に参加できます」と挨拶していかれました。選手たちからは「とても手厚いもてなしをしてくれる大会だ」と絶賛していただいています。

今年は大きなケガをする選手もなくスムーズな運営ができました。これも参加ご協力いただいた皆様のおかげです。来年以降もこの活動は続きます。皆様のご協力をお願いいたします。

9/18 (木)

学生たちも交えて事前研修会を実施

こまつドーム和室研修室にて、KOMATSU全日本鉄人レースの事前研修会が開催されました。会員とともにサポート活動を行う金沢大学トレーナー部(KATT)、北信越柔整専門学校講師等も参加して、当日の運営やケアにおける注意事項を確認し、ストレッチやテーピングについて事前に勉強しました。

加賀支部委員の堀松郁子会員によるストレッチ講習では、スタート前とゴール後でのストレッチの違いを説明し、各自が統一した基本的なストレッチを実習しました。続いて佐藤裕之会員がスタート前のテーピングやケアの仕方、競技特性に合わせたテー

大会当日の注意事項を確認。



堀松会員によるストレッチ講習。

ピングのアレンジ等を行い、約2時間の講習会となりました。参加会員や学生たちから質問が相次ぎ、閉館ぎりぎりまで意見交換を行いました。

野々市じょんからの里マラソン

平成26年10月19日(日)、第33回野々市じょんからの里マラソン大会が開催され、1,297人のランナーが参加。秋晴れの下、住宅街や田園地帯を力強く快走しました。

■今大会の活動状況

大会前日の18日(土)はブースの設営と事前研修会を実施、テーピングやストレッチの方法等について確認を行い、翌日に備えました。

事前研修会では、会員がモデルになって、テーピングやストレッチの方法について確認。



大会当日、サポート参加会員17名が早朝6時30分に野々市市民体育館に集合。7時前から選手たちが次々とブースを訪れ、延べ104名の選手にストレッチやテーピング、アイシング等を施しました。

今年の大会ではレース前にストレッチを望む声が多く聞かれ、「仕事の都合であまり練習ができなかったため、調整がうまくできていない」と訴える一般参加選手も少なくありませんでした。仕事に追われながらのレース出場だっ



天候は爽やかな秋晴れ！約1300人の選手が快走する。



賞品を手渡す山下純二支部長。

〈施術データ〉

参加者	男性(61名)		女性(43名)		利用 延べ人数
	レース前	レース後	レース前	レース後	
1297名	25名	36名	11名	32名	104名

た人も多くいたと思われませんが、参加者たちの顔に疲労感はなく、むしろ走ることの楽しさが伝わってくるような爽やかな表情でした。

今年は天候にも恵まれ、走り終えた選手とサポート参加者の間の会話も弾み、ブース内に終始笑顔が絶えない活動となりました。サポート活動に必要なのはストレッチやテーピング等の技術だけでなく、選手たちから笑顔がうまれるような会話も大切にしなければと改めて感じました。



サポート接骨石川(SSI)活動③

金沢城下町市民マラソン (金沢マラソンプレ大会)

平成26年11月9日(日)「金沢城下町市民マラソン」が、しいのき迎賓館前広坂通りをスタートして秋の金沢路を走るコースで行われました。今回は来年11月15日に開催される「金沢マラソン」のプレ大会として実施されました。

■総勢57名でサポート

近江町市場前・JR金沢駅前・片町交差点等を通る10キロと金沢城公園周辺を走る3.3キロのコースに計5,676人が参加、またゲストランナーとして、3度のオリンピックに出場した日本マラソン界の“レジェンド”君原健二さん(73歳)やAKB48のメンバー3名も出場されました。君原さんはスタート前、「古都金沢の魅力をすごく感じるコースですね。来年の大会に期待しています」と話されていました。

本大会でのサポート活動は今年で3回目となります。トレーナーブースではIST(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)を中心に、石川県体育協会スポーツ医科学委員会医師・(公社)石川県柔道整復師会・(公社)石川県鍼灸師会・(公社)石川県鍼灸マッサージ師会・石川県理学療法士会・日体JASA-ATのメンバーと金沢大学KATT(金沢大学トレーナー部)からなる総勢57名で選手たちをサポート。トレーナーブースに隣接して北信越柔整専門学校ブースも設置され、来年開催の金沢マラソンで想定される12,000名の参加者に対応するための活動となりました。

当日は早朝6時より活



選手からトレーニングのアドバイスを求められることも。



山野市長がトレーナーブースを激励に訪れた。

動が始まり、スタート前の選手たちにコンディションの調整、テーピング、ストレッチ等を行い、ゴール後はケアのため大勢の選手がトレーナーブースに押しかけました。選手からは「来年の大会に向けてどのようにトレーニングをしたらよいか?」や「ケガの予防法は?」といった質問もあり、コミュニケーションをとりながらの活動となりました。今年には救護との連携が必要になる選手はいませんでした。大会終了の



協力して活動した全員が集合!



午前11時までに103名の選手をサポートすることができました。

来年の「金沢マラソン」の成功に向けて、(公社)石川県柔道整復師会も昨年度より実行委員として、またボランティアサポートとして参加

し、いくつもの課題をクリアしながら活動をしています。県内最大のフルマラソン大会となる「金沢マラソン」を盛り上げるため、皆様のご協力が必要です。ぜひサポート活動に参加いただきたいと思います。



サポート接骨石川(SSSI)活動④

白山市出城地区総合防災訓練

平成26年9月7日(日)午前7時から、白山市立蕪城小学校グラウンドにおいて白山市出城地区総合防災訓練が開催され、(公社)石川県柔道整復師会から4名の会員が「石川県柔道整復師会赤十字奉仕団」として訓練に臨みました。

訓練は「9月7日の午前7時30分頃、西方沖を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生、白山市において震度6強の強い揺れを観測し家屋の倒壊や火災による負傷者が多数出ている」という想定で行われ、地域住民ら約700名が参加しました。

今年度は総務省消防庁から貸与のエアートントを張り、その中へ負傷者を搬送する訓練と簡易担架の作成、そして応急手当訓練については四肢の骨折に対して身近にある傘や段ボール、ビニール袋等を工夫したシーネ固定などの実技と参加者への指導を行いました。



参加者に説明しながら応急処置を実演。



負傷者を搬送するための簡易担架を作成。



段ボールを使った応急処置を親子で体験してもらう。



ふろしきやスーパーの袋など身近にある日用品が応急手当の道具になる。



4名の会員が訓練に参加(前列左より東勝一会員、西川典孝会員、木山隆久会員。後列は津田佳之会員)。

2014年 日本柔道整復医学会主催研修会 学会員の増加・資質向上を目指して

平成26年11月2日(日)、一般社団法人日本柔道整復接骨医学会主催研修会が新潟市万代市民会館にて開催されました。午前11時50分の開講式に続き、櫻井康司学会長により「学会の未来像」と題

して講演が行われ、これまでの教育課程の変遷と柔道整復業務の臨床研究発展の大切さを述べられ、学会会員数の増加と資質向上の重要性を説かれました。その後3名の学会員が研究成果を発表し、約150名の参加者は最後まで熱心に聴講していました。

なお次年度は、金沢での開催を予定しています。



開会式に続き、櫻井会長による講演が行われた。

学会員発表①

肩関節の外傷と障害



共済会新潟第二病院整形外科部長
塩崎 浩之先生

肩関節は頭求心位*が乱れると痛みを誘発しやすくなるということを基に、各年代における肩関節痛の特徴を説明された。若年者で注意すべきことは、外傷の際の外力により骨頭がずれて生じた関節面でのごく軽度な骨損傷が、捻挫・打撲として処置され、適切な処置をされないまま悪化するケースが見られ、慎重な対応が必要だ。中年者ではいわゆる五十肩(肩関節拘縮または凍結肩)で、中高年者では腱板断裂が多い。長年使うことで腱板が摩耗して起こる変性性断裂、外力などで突然断裂する外傷性断裂があり、ずっと無症候だった変性性断裂に軽微な外力が加わって断裂が拡大する場合もある。これらの具体的な症例を提示し治療法を説明された。

*頭求心位…上腕骨頭と肩甲骨関節窩がうまく適合している状態でありストレスが少ない。拳上時には大小結節が烏口肩峰アーチに滑り込み360°近い肩の動きが可能となる。

学会員発表②

スポーツ選手の診察と治療戦略



こん整形外科クリニック理事長
近 良明先生

外傷や障害を起こす原因となる体の使い方や全身の機能不全を見つけ出すため、しっかりとした機能評価をし改善することが重要と説かれた。

実際の診療では、痛みを伴う部位の組織修復のための安静、消炎鎮痛処置と同時に柔軟性のアップや機能訓練を行い、体幹トレーニングを含むアスリートリハビリテーションを予防の意味を込めて行うことで、早期復帰と再発予防につなげることができる。

学会員発表③

骨折・脱臼の保存療法について



新潟柔整専門学校副学科長
早川 雅成先生

自身が勤務した整形外科では骨折・脱臼には徒手整復・外固定を施した保存療法が中心だったことから、橈骨遠位端部骨折、肩関節脱臼、上腕骨外顆骨折、踵骨骨折等の整復法、外固定法などを紹介。また、本来観血療法の適応と考えられる上腕骨顆上骨折や鎖骨外端骨折高度転位例で保存療法により良好な経過を得た症例を動画を交え紹介した。

●詳細については学会誌抄録をご参照ください

第38回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

準優勝

北信越西部が健闘!

平成26年10月13日(月・祝)、東京 講道館において第38回日整全国柔道大会が開催され、北信越西部チームが大健闘の準優勝となりました。北信越西部は石川・福井・富山の3県の選手で編成され、石川県からは次峰・田中寿人選手、中堅・城寶忠信選手、副将・小倉弘行選手の三名が出場しました。

息をのむ接戦が続く



北信越西部の初戦は、昨年の準決勝で代表選の末敗れた東京との遺恨試合となり、2-1で競り勝って雪辱を果たしました。2回戦は近畿Bに3-1で、3回戦も中関東に2-1と順当に勝ち上がり、決勝戦を迎えました。決勝戦の相手は強豪擁する南関東。北信越西部は強敵を相手に1-2の接戦を繰り広げましたが、惜しくも準優勝となりました。

石川県からは、丸田克幸会員が審判を務めたほか8名の会員が会場へ駆け付け、応援団として熱い戦いに精一杯の声援を送っていました。

なお北信越西部からは、福井県の八本木通秋選手が優秀選手賞を受賞しました。

※大会結果詳細は日整HPをご覧ください。



各ブロックを勝ち抜いてきた強豪が揃う。

試合結果

- 〈1回戦〉
北信越西部②-1 東京
- 〈2回戦〉
北信越西部③-1 近畿B
- 〈準決勝〉
北信越西部②-1 中関東
- 〈決勝〉
北信越西部 1-② 南関東

北信越西部チーム

監督	森田 満 富山
大将	八本木通秋 福井
副将	小倉 弘行 石川
中堅	城寶 忠信 石川
次鋒	田中 寿人 石川
先鋒	山崎 昌司 富山



表彰式にて。

- 優勝** 南関東ブロック
- 準優勝** 北信越ブロック西部
- 3位** 北海道ブロック
中関東ブロック



第38回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会決勝動画

功労賞受賞者

開会式で表彰状が授与されました。石川県からは次の4人が受賞。

- 田中 寿人(出場5回) 城寶 忠信(出場5回)
- 小倉 弘行(出場10回) 北浦 健司(出場10回)





準優勝を果たした北信越西部チーム。

第23回日整全国少年柔道大会 第4回日整全国少年形競技会



日整全国柔道大会とあわせて、第23回日整全国少年柔道大会が開催され、石川県からは中能登柔道教室が初出場しました。中能地区から初めての県代表でしたが、残念ながら初戦で敗退。しかし、今大会優勝の青森県代表を相手に善戦しました。

また、第4回日整全国少年形競技会では石川県代表の鶴来坂田道場がAブロック6位となりました。



第4回日整全国少年形競技会動画ダイジェスト



平成26年7月3日入会

谷 敦史

(たに あつし)

生年月日 昭和60年7月27日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 野々市市御経塚3丁目
325番地

接骨院名 ハレ接骨院

電話 076-272-8065

特技・趣味 スポーツ



平成26年9月29日入会

宮田 哲志

(みやた てつじ)

生年月日 昭和48年12月13日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 金沢市もりの里1丁目58

接骨院名 みやた接骨院

電話 076-223-5888

特技・趣味 登山



平成26年9月29日入会

森 陽一朗

(もり よういちろう)

生年月日 昭和62年3月9日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 加賀市松が丘1丁目21
番地18

接骨院名 もり接骨院

電話 0761-76-9433

特技・趣味 読書

随想

チャレンジ マイハートの軌跡

Casual Volunteer

金沢南支部会員 川本 力雄

平成12年の金沢南支部事業計画立案のまっ只中、支部委員の山崎一平会員が手を挙げた。社会貢献活動として「草刈奉仕をしようではないか」と。早速その年の夏のある日、私達は霊峰白山の眼前(野々市市末松)、石川県障害者支援ゾーンの一角にある社会福祉法人石川サニーマイトの敷地(約8,000平方メートル)に点する宿舎や作業場、学び舎の前に立った。まさに草ボーボー、猛暑に生い茂った夏草は蒸せるような匂いと湿気を発していた。夏休みの間に草を刈り、生徒さんたちにスッキリと新学期を迎えてほしいとの想いを込めて午前6時から草を刈り、集めること2時間余。有志会員による年に一度の作業ではあるが、「快汗かいあせの時」を積み重ね本年で15回目になる。

山崎会員の提案には即賛同したものの、いざ実行するとなるとどんなスタイルで活動するのか、施設との交渉やルール、予算の問題まで解決すべきことはいろいろ。活動可能な時間帯や必要な人数とペース等、一つひとつ検討を重ね、軍手、鎌、草刈り機は各自持参ということで実施当日を迎えた。ところがビックリ、身の丈もある草に一同啞然！立派な道具も多くの会員にとっては“体の一部”とはいかず、あらかじめ決めておいた段取りも、いたずらに時を急かすばかりで効果が上がらない。今はそれも良き思い出となり、今夏は約1時間で作業を終えた。

喜ぶべきことは、回を重ねるごとに施設長をはじめ職員の方々、入所者のご家族の皆様の参



15回目ともなると、作業も板についてきた。



入所者の方と一緒に汗を流す。

加が増え、軍手や草刈り機一式、さらに飲み物やアイスクリームまで用意していただけるようになったこと。さらに入所者の方々との出会い、そして喜びを分かち合うという体験をとおして、会員一人ひとりが次第に自分を発見する喜びと気づきを胸に刻んだことだろう。

心に豊かさを育む

(公社)石川県柔道整復師会もこれまでに、被災地での災害支援活動、県内各種スポーツ大会へのサポート活動、書き損じハガキ・切手の収集等、公益性を持った活動を広く行ってきたが、ボランティアの4原則である ①自主性・主体性 ②社会性・連帯性 ③創造性・開拓性 ④無償性・無給性について明確な定説はない。その時代、その社会、暮らしの置かれた状況によって変化し続けているからだろう。

欧米諸国では「Casual Volunteer」とよばれ、「誰でも、どこでも、どんなことでも」空いた時間や労力を気軽に提供し、隣の人に寄り添うような気持ちで行動を起こす多面性を持った活動であるといわれている。自己犠牲や利他の精神とはチョッと違い、心に豊かさを生む活動といえるであろう。

学び！ 気づき！ 行動！ 連帯！

今一度、ボランティアを考えようではないか。

Topics -トピックス-

トピックス①

県の自殺防止対策への協力要請を受けて ゲートキーパー研修会が開催される



まずは話を聞く、受け入れることが大切と角田先生。

平成26年10月5日(日)午前10時より石川県地場産業振興センター新館にて(公社)石川県柔道整復師会、(公社)石川県鍼灸マッサージ師会、(公社)石川県鍼灸師会の3団体によるゲートキーパー研修会が開催されました。当日は台風の影響による雨模様のうえ金沢市長選挙の投票日とも重なりましたが、122名(石川県柔道整復師会会員56名)の参加者が集まりました。

ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき必要な支援につなげることができる“命の門番”です。県では自殺防止対策の一環としてゲートキーパーの養成を目指しており、この研修会はゲートキーパーの役割を担う協力店「ほっとハート店」の推進を図ることを目的に、石川県健康福祉部障害保健福祉課の依頼を受けて開催されたものです。

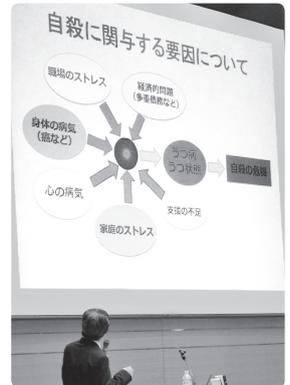
研修会では、石川県立中央病院緩和ケア内科診療部長兼石川県こころの健康センター長である角田雅彦先生による約2時間の講習が行われました。その中で先生は、日本における自殺者の現状と動向、日本での自殺要因とうつ病の

関係、それに対する病的要因の解析、ゲートキーパーの必要性と対処の仕方等を説明され、最後に ①相談者の不調に気づき ②話を聞いてあげる ③必要な支援につなげる ④一人ひとりがつながりあうことが必要であると述べ、そういう社会をつくるためのゲートキーパー養成に理解と協力をお願いしたいと結ばれました。その後、質疑応答を受け研修会は閉会となりました。

会員には接骨院内外に掲示するポスターやゲートキーパー手帳、「こころのキズバン」などが配布され、今後の臨床の際に生かせる有意義な講習会となりました。



講師の角田雅彦先生。



日本における自殺者の現状、要因等を説明。



台風の影響が心配されるなか122名の参加があった。

トピックス②

チャレンジ・マイハート

金沢南支部が草刈奉仕活動を実施

平成26年8月24日(日)午前6時、石川県障害者支援ゾーン内にある社会福祉法人サニーメイトに有志会員23名が集合、約1時間の草刈作業に没頭しました。残念ながら陽光のささない曇り空でしたが、作業中の会員の顔には笑顔が溢れ、「してあげる」「してもらう」ではなく、互いに助け合うことで満ち足りた思いを得られたひと時でした。

当日は早朝より、相談役の久世正次会員(79歳)が駆け付けてくださり他支部会員の応援もありましたが、残念ながら南支部の若い会員の参加が少なく、次回には一人でも多くの会員が参加されることを願うばかりです。

作業の後は、施設より冷たいアイスクリームと労いの言葉をいただき、流れる汗の成果と豊かな心をもって散会しました。



久世会員は毎年欠かさず参加してくださっている。



ナント頼もしい!



来年も一緒に気持ちのいい汗を流しましょう!

皆様の投稿をお待ちしています。

テーマは自由。日々の雑感や接骨院へのご意見など、なんでも結構です。川柳、短歌、俳句等の作品やイラスト、絵手紙なども大歓迎です。

【送付先】

メールの場合

■ B.sonnix@po3.nsknet.or.jp

広報部 佐藤裕之 宛

※件名に「広報原稿」または「広報写真」と入力ください。

郵送の場合

■ 〒920-0031 金沢市広岡2丁目3-26

石川県柔道整復師会 広報部 佐藤裕之 宛

※封筒に「広報原稿」または「広報写真」と明記ください。

❖フィギュアスケートGPシリーズ中国大会の公式練習で、羽生結弦選手が他の選手と激突。ライブで観ていた私は、どちらもケガで欠場だと思いました。二人ともリンクに出て演技をした時は鳥肌が立つくらい感動したのですが、柔道整復師としてスポーツに関わっている私たちがこのような事態に出くわした際は、どう対応すべきでしょうか。応急の処置をして出場させるか、欠場させるか……一人で判断できない状況に遭遇した時に役立つのが、ISTやSSIの活動で培った各医療者とのネットワークです。皆さんももっと参加してみたいはいかがでしょうか。(佐藤 記)



❖前号より——引き分けとなった準決勝は激戦を極め、四高、六高ともに決勝進出は不可能に、別枠から勝ち上がった五高の不戦優勝となった。前年に警視庁に5人残し(25人の勝ち抜き戦)で勝利した伝説の強豪・六高は、その後8連覇を達成している。傑出した寝技技術を発達させた高専柔道は旧帝大の七帝柔道に引き継がれ、四高が優勝した第1回全国高専柔道大会から100周年となる今年の七帝戦は、実に43年ぶりに大阪大学が優勝した。北信越ブロック柔道大会8連覇達成を称え、柔道情報の編集後記これにてめます。(橋本 記)



❖濱亮輔会員が、11月30日(日)東京で開催された日本柔道整復接骨医学会で発表を行なった。10分という限られた中での発表だったが、充実した内容であり、柔道整復師として日々の臨床に取り組む姿勢が感じられる素晴らしい発表となった。今後のご活躍を祈るとともに心から敬意を表したい。平成27年度には学会主催研修会が金沢で開催される予定です。ぜひご参加ください。(錦川 記)



❖今、子どもたちの間では数人で戦う戦隊ヒーローものが大人気。一説によるとそれは、日本人が農耕民族だからだそうです。反対に狩猟民族では、ヒーローは一人が当たり前。農耕民族と狩猟民族では、組織の作り方に差があるからかもしれません。人間の遠い過去の記憶が、子どもたちの憧れにまで影響しているようです。(太田 記)



❖取材で一番緊張するのが集合写真です。毎回、なかなか満足な写真が撮れません。珠洲市の防災訓練の時も不安で20枚以上も撮っていたら、そばにいた消防のお兄さんが「シャッター押しますよ」と言ってくれました。せっかくなので最後に一枚だけお願いしたのですが、後で見たらその一枚が一番よく撮れている……私の立場はどうなるんだろう。(中野 記)



❖私事ですが、今年2月から毎晩飲んでいたお酒類を自宅で飲まないようになりました。お酒を飲む喜びよりも、朝の清々しい目覚めが嬉しくなってきたようです。今年52歳。元気に楽しくそして素朴に！「私の最高傑作は次回作だ」チャールズ・スペンサー・チャップリンより(木藤 記)



❖能登支部主催の公開講演会に参加するため、片道2時間半の行程で珠洲まで出かけました。幸いにして3名の会員と同伴だったので、能登空港で休憩をとり、楽しく能登路をドライブして来ました。私は金沢在住、総会や他の行事にたやすく参加できることに感謝、感謝です。毎回遠方より本会行事に参加される会員の皆さん、本当にご苦労様です。(小松 記)



❖テレビで見た「今日は何の日」、自分でも調べてみると365日いろいろな記念日がある。先日亡くなった高倉健さんの主演映画『南極物語』のタロ・ジロの記念日が1月14日、これは昭和基地に取り残された樺太犬15頭のうち2頭の生存が確認された日です。他にも2月28日「バカヤローの日」、4月11日「ガッツポーズの日」などなど。それぞれ面白いエピソードもあり、皆さんもご自身の誕生日を調べてみるのも一興かと。(唐木 記)



❖男性の場合、更年期障害は緩やかに長く起きるものだそうで泌尿器科受診となります。症状緩和には2×6呼吸法(仰向けで2秒吸い6秒かけて吐く)による自律神経調整、女性にはパッチシールホルモン療法があるようですが、これは男性には適応外とのこと、残念。のぼせ・ほてり・異常発汗・不眠・抑鬱状態に注意。(五十嵐 記)



ビバ・シティ 第9号 (平成26年12月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡 2 丁目 3-26
TEL076-233-2122 (代)
FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

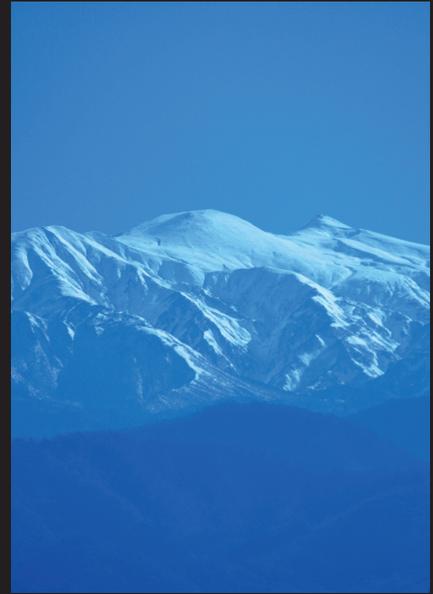
■発行者／木山 時雨

■編集者／佐藤 裕之・錦川 孝彦・中野 秀人
小松 英夫・橋本 大衛・太田 信幸
木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



撮影 加賀支部 佐藤 裕之会員
使用カメラ:Nikon D3100
撮影データ:f/6.3 EX1/4000"
ISO 800 焦点270mm
使用レンズ:TAMRON DiII 18-270mm

[白山]

御前峰(ごぜんがみね)、大汝峰(おおなんじみね)、剣ヶ峰(けんがみね)の三主峰とその周辺の山々からなる連峰の総称で、石川・福井・富山・岐阜の4県にまたがる山麓一帯は国立公園に指定されている。

最高点の御前峰は標高2,702m。一等三角点と白山比咩神社奥宮があり、富士山、立山と並ぶ日本三霊山の一つ。加賀市出身の深田久弥氏は、著書『日本百名山』の中で「私のふるさとの山」と呼び、登山家の岩崎元郎氏による新日本百名山にも選ばれた(中谷宇吉郎 雪の科学館の屋上より撮影)。